

2006.1.5.発行

Challenge Road

SINCE 1961

学校法人 トヨタ名古屋整備学園
トヨタ名古屋整備専門学校

〒452-8567 愛知県西春日井郡春日町落合一番割1
TEL:052-400-3611 FAX:052-400-3615
発行責任者 藤田 紀一郎
URL <http://www.toyota-tcn.ac.jp>
E-mail gakuseibu@toyota-tcn.ac.jp

Vol.2

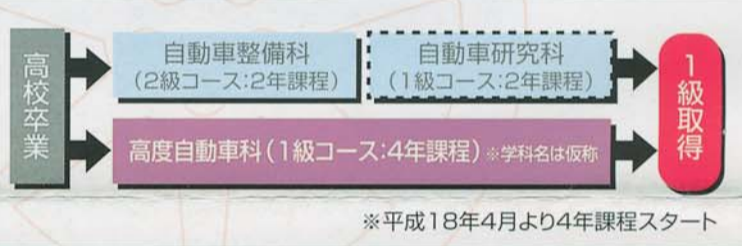


新年のご挨拶

校長 藤田 紀一郎

新年あけましておめでとうございます。
今年も皆様のご活躍とご多幸を心からお祈り申し上げます。
当校は昭和36年に設立し、今年で45周年を迎えます。この節目の年にこれまでの伝統・実績に恥じないよう、優秀な自動車整備士の育成に全職員一丸となって邁進していく覚悟を新たにしています。
昨年は、東海地区におきましては中部国際空港の開港、愛・地球博の開催など、活気に満ちあふれた、まさに変化と挑戦の一年だったといえます。トヨタ自動車や当校においても、同様に変化と挑戦の一年でした。トヨタ自動車ではレクサス店を立ち上げ、また当校では、理事長の交代をはじめ、4階建の新実習棟である“総合技術棟”の完成、学校新聞『Challenge Road』の創刊などを実現しました。
今後は、1級自動車整備士コースの教育内容を強化し、現在の自動車研究科(2年課程)を4年課程とするなど、ますます高度化していく自動車技術に対応できるよう変化と挑戦を進めます。現状の「2年+2年」の分割された教育から「4年制一貫教育」へ変更することによ

り、真の専門知識技術を身につけた幅広い人材育成をすることが可能となります。当校の4年課程を卒業するメリットとして「高度専門士の称号付与」「大学院入学資格の付与」などがあります。この4年課程は平成18年4月からスタートしますので是非ご期待ください。



今後も当校の教育理念をしっかりと見つめつつ、主役である学生にとって、魅力ある「ナンバーワンで、オンリーワン」の整備学校になることを目指して力を結集してまいります。
皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

学園祭

毎年恒例の学園祭を10月29日、30日に行いました。今回のテーマは、「絆～きずな～」。

学生自身が、人と人とのつながりを深め、新たな絆を作っていきたいという思いからこのテーマを選びました。

学園祭初日は、あいにくの雨模様の中、学園祭のメインイベントである整備コンクール予選が始まり、総合技術棟では、環境問題やエンジンの違いなどを題材にした研究発表、校内では、有志による模擬店など各種イベントを行いました。

2日目は、雨模様から一転して快晴となり、当校の名物イベントとなった沖縄エイサー踊りで盛り上がる一方で、先生チームも参加しての整備コンクール決勝を実施しました。先生チームはさすがと思わせる身のこなしを見せる一方で、学生チームも先生に負けじと白熱した戦いを繰り広げました。

この2日間を通じて、1500名以上の来場者があり学生間はもちろん、地域社会、就職先、同窓会などすべての関係先がより強い絆を結ぶことができ、新たな発見に感動する思い出深い学園祭となりました。



テーマは「絆～きずな～」



整備コンクール



研究発表



名物イベント、沖縄エイサー踊り

Special Feature

高度な知識・技術・人間性を備えたスペシャリストを目指して。

ハイブリッドカーや燃料電池自動車など、自動車技術は日々進化を続けています。

より高度な技術の自動車を診断・整備し、さらに整備業界全体をリードする人材を養成するため、当校では日本で最初に1級自動車整備士コースを設立しました。

最先端技術に触れ、より高度な知識・技術・人間性を備えた整備業界のスペシャリストが、ここから生まれています。

在校生の声



自動車研究科1年
河野 琢哉 大阪府出身

●就職してから自信をもって仕事がしたい

平成17年3月に自動車整備科を卒業。2級自動車整備士資格を取得し、自動車研究科に進学しました。

授業は自分で考えて取り組まないといけないので少ししんどいけど、やり甲斐はあります。授業で最も面白いのが故障診断です。真の整備力を身につけることができますから。今は、就職してから自信を持って仕事がしたいという思いから、必死に勉強しています。“夜遅くまで実習場で作業”なんてこともしばしば。好きなことだから人一倍頑張れますね。本気でつきあってくれる仲間や先生がいるから頑張れるのかな、なんて。

卒業生の声



三重トヨタ自動車株式会社 レクサス松阪
テクニカルスタッフ

小掠 章太氏 三重県出身

●最高峰のテクニカルスタッフになりたい

現在はテクニカルスタッフとして、点検・修理・整備を主に担当しています。お客様に「1級自動車整備士の小掠さんに整備して欲しい」と指名して頂きたいので、更なる整備技術の向上に努めています。また、お客様に整備以外でも満足していただきたいため、おもてなしにも気を配っています。トヨタ名古屋整備専門学校の教材車は最新で、しかもバリエーションが豊富なので、就職してからとても役立っています。理解できるまで徹底的に勉強できる環境があったから「最高峰の資格」を取得できたと思っています。

卒業生上司の声



三重トヨタ自動車株式会社 レクサス松阪
ゼネラルマネージャー

富田 洋二氏

●これからの販売会社はサービス力で差がつく

現在の車はエンジンの制御が複雑だから理解力・応用力が必要です。これからは新車販売と並んでサービスが主力商品となっていきます。つまり、サービス力が販売会社の生命線になるんです。だから、よりレベルの高いテクニカルスタッフが欲しいですね。

小掠君は、整備の基礎がしっかり身につけているから頼りにしていますよ。レベルもかなり高いため、就職1年目でいながらレクサスに配属したんです。さすが自動車研究科出身ですね。これからの成長にも期待しています。

卒業生勤務先



三重トヨタ自動車株式会社 レクサス松阪

Past Students

当校を1980年卒(20期生)で、ネットトヨタ岡山株式会社取締役にご就任され、ご活躍されている田中氏へ、今後の抱負や当校の学生への期待などについて語っていただきました。現在、ネットトヨタ岡山株式会社ではサービスを軸とした総合営業活動を行っています。今年、最も活躍が期待できる販売会社です。



ネットトヨタ岡山株式会社
取締役

田中 始男氏

●トヨタ名古屋整備専門学校へ進学を決めた理由

高校3年時、進学か就職かで迷ったのですが、これからの時代は自分を高めるためにも専門学校に行って、資格を取って、手に職をつけないといけないと考えたんです。子供の頃から車が好きだったので、迷わず自動車整備の専門学校と決めました。地元にも自動車整備の学校はあったのですが、高校の先生から「トヨタの学校は教育が充実しているぞ。どうせならトヨタの本場へ行ってみる!」というアドバイスを頂き、名古屋

へ行くことに決めました。実際、教育内容や設備は他校を圧倒していました。今でも自分の決断は正しかったと確信しています。

●入社当時のエピソードと仕事におけるモットー

整備士の仕事には電気の知識が絶対に必要です。なのに学生時代から電気が苦手でした。ところが整備の現場では、電気について詳しくないと仕事を任せられないというのが現実。このため、入社後は電気に強くなるために徹底的に勉強しました。仕事が終わってからも夜遅くまで頑張って、学生時代よりも勉強しました。その努力のおかげで、電気については誰にも負けないという自信ができました。仕事をやる上で、自信というのは最大の武器。精神的なよりどころとなりますから。自信のない人に、いい仕事はできないと思いますよ。

●取締役就任の抱負

私は現在、新車部門を任されています。新車代替サイクルは平均約8年間と長期化しており、その間、いかにお客様との良好な関係を維持できるかが重要ポイントとなってきています。繰り返しサービス入庫していただきながら、お客様に満足を感じていただくことが、次の新車販売やU-carの販売につながると思っています。そうしたことからサービス部門は営業活動の中心的役割を果たしています。サービス部門で長く働いてきた経験を活かして新車部門を引っ張っていき、常時、総合表彰が狙える強い会社になりたいですね。

●トヨタ名古屋整備専門学校の学生に期待すること

クルマのサポートを通じ、お客様に豊かで安全・安心なカーライフを提供するというお客様第一主義の観点からも、サービス部門の重要性は増えています。中でもテクニカルスタッフは、従来の職種の垣根を越えた業務が求められてきます。例えば当社では、入庫時の受付、中間報告、清算といった一連の業務もテクニカルスタッフが行います。ただ単にお客様のクルマを整備・修理するだけでなく、お客様とのコミュニケーションを通じ、ご要望を伺い、提案を行うというコンサルティングにより、クルマはベストな状態に、お客様には満足を感じていただくというわけです。学生の皆さんには、そのことを常に頭に置いておいていただきたいですね。とは言え、やはりそのベースには確かな技術力がなければなりません。最高の整備技術が学べるこのトヨタ名古屋整備専門学校で、頑張ってください。



ネットトヨタ岡山株式会社

● 在学生の近況

Now Students

研究科教育実習

11月に、研究科2年生が教育実習として、整備科1年生の後期授業を行いました。この教育実習は、研究科の教育目的のひとつである「リーダーとしての指導力」を養うために実施しています。

TOYOTA Tech News 研究科2年 森 大輔

教育実習を通し、教えることの難しさを改めて感じました。私の担当は電子でしたが、電子は苦手な人が多く理解しにくい教科なので、導入でいかに教科内容を理解させるかを考え、授業を行いました。担当したクラスの反応も良く、スムーズに授業を進めることができたと同時に、教える立場としての今後の課題も見ることができました。本当に貴重な体験をさせていただき、有り難うございました。



2年生選択授業

整備科2年生を対象に、8月30日～9月15日にかけて選択授業を実施しました。内容は、これまでの授業内容の復習に重点をおいた「実力養成コース」、通常授業内容に比べ、より高度な内容に重点をおいた「応用コース」、さらに資格取得のための「資格取得コース」、「板金塗装コース」があります。これらのコースの中から学生自身が自分のレベルに合わせて受講したい内容を選択し、さらなるレベルアップを図ることができます。今年度も資格取得コースには、たくさんの受講者が集まりました。資格取得コースには、中古車査定士、溶接、危険物、フォークリフトなどがあり、学生たちは資格取得のため、熱心に受講していました。また、板金塗装コースでは、定員を上回る希望者が集まり、受講できない学生もいました。この板金塗装コースは、今年度より初めて校内の施設を使用する講習となったため、新しい設備、最高の環境で実施することができました。板金や塗装は、難易度の高い技術が必要とされるため、学生たちは四苦八苦しながらも、熱心に取り組んでいました。将来、この講習で得たものを活かしてほしいものです。

※簡易板金塗装の授業は、全学生が正規のカリキュラム内で受講します。



● 就職支援活動

Career Counseling

企業説明会開催

11月16日～18日及び11月24日の4日間、整備科、研究科それぞれの1年生を対象とした校内企業説明会を実施しました。この催しはトヨタ自動車、トヨタ・ダイハツ・日野系自動車販売会社、トヨタ関連企業等の採用担当者を当校に招き、就職希望の学生と企業の採用担当者が直接面談するものです。この催しは学生にとってはより詳しく企業研究できると共に自己アピールの場として活用されています。この中で採用担当者からは、「整備技術だけでなく会社を変革させる力のある人材が欲しい。」「販売会社の仕事はお客さま満足度(CS)の上に成り立っていることを良く理解して働いて欲しい。」などの話があり、学生からも積極的に質問をする姿が見られました。

販売会社毎に様々な個性があるので、就職は自分の適性を良く見極めて考える必要があると感じました。また以前から興味があった営業職の内容なども聞くことができ大変勉強になりました。早く就職が決まるように努力したいです。

(整備科1年生コメント)



前期定期試験

整備科では、1年生は9月7日～16日の7日間、2年生は7月21日～26日の5日間、前期定期試験を実施しました。当校では前期、後期の年間2回、主要教科(エンジン、電装、電子、シャシ)を中心とした定期試験を行います。各教科には学科と実技試験があります。

実技試験では、一人一人の学生が試験官の前で、与えられた作業を制限時間内に正確に行なう技術チェック試験があるので、試験の数週間前から、放課後夜遅くまで自主的に練習作業を行なう学生の姿が見られました。試験後の反応も様々で、「練習では出来たブレーキのオーバーホール作業が、試験当日は緊張して時間内に出来なかった」「電気回路の電圧測定の方法を間違えて、テスターのヒューズを断線させ、作業が中断してしまった」等の失敗談が聞かれました。次の定期試験は来年1月に行います。今回の反省点を踏まえ、万全の勉強体制で試験に望んでもらいたいものです。



News File

新理事長来校! 授業参観!!

11月17日、岡本一雄新理事長(現トヨタ自動車株式会社取締役副社長)をはじめ当校理事3名により、中長期ビジョン検討会を行いました。その検討会は「益々高度化かつ複雑化していく自動車技術に対応できる優秀な人材の育成・輩出」というテーマで行いました。また、岡本新理事長は検討会に先立ち、「現地現物」の観点から早速、授業参観を実施しました。授業参観では、研究科の学生に対し授業内容などについての懇談をするなど、直接学生からの要望の聞き取りを行いました。岡本新理事長からは「整備学校として『ナンバーワン』としての地位を不動のものとするため、今後も教育・施設の充実に取り組み、理想の学校づくりをしましょう!」と全職員を激励しました。



被災実践訓練実施

9月24日、西春日井郡広域事務組合消防本部のご協力のもと、当校学生会館において初の被災実践訓練が行われ、災害時における炊き出し法や三角巾を用いての救急法、心肺蘇生法などの訓練を行ないました。

三角巾を用いての救急法では、二人一組となって、お互いに腕のつり方や頭部の処置などを学びました。また、心肺蘇生法では、一般人でも使用できる自動体外式除細動器(AED)を用いての心肺蘇生法を学びました。学生たちにとっても初めてのことばかりでしたが、いざというときの備えをという心構えで、真剣に訓練にのぞんでいました。



ボランティアフォーラム

10月27日にボランティアフォーラムを開催しました。今年は、ボランティアサークルの学生による「当校のボランティア活動報告」のほか、中部リサイクル運動市民の会の代表等でボランティア活動を行っている萩原義之氏の「あなたは地球にながらぬ」と題した講演もありました。学生からは「ちょっとしたことがボランティア活動になることがわかったので、まずは自分の周りから少しずつやってみようと思った」「誰かのために何かすることでお互いの気分が良くなるので、これからも積極的にボランティア活動をしたい」などの感想が聞かれ、大変有意義なフォーラムとなりました。



当校にて、NHK『あなたとエアロビック』収録!

12月9日、NHK(衛星第2)の番組『あなたとエアロビック』の収録が当校学生会館アリーナ(体育館)にて行われ、当校の学生約130名がインストラクターの指導のもと、爽やかな汗を流しました。参加者は整備科、研究科、ブラジルコースの学生で、日頃の運動不足の解消にもなったようです。NHKから「(公開収録以外で)こんなに多くの参加者いただいたのは初めてです。学生さんが元気な様子、充実した体育館の設備にも驚きました!」と感想をいただきました。番組は平成18年2月3日(金)放送予定です。



熱い入試が全国でスタート!

2月にも一般入試(第3回)を実施します!

今年度の指定校推薦入試、一般推薦入試、一般入試(第1回・第2回)を本校および地方会場で実施しました。熱気に包まれた入試会場では、受験生の熱意のこもった自己PRが響き渡りました。今後の入試は2月に実施する一般入試(第3回)を残すのみですが、まだ進路で悩んでいる方、進路が決定していない方、ぜひChallengeして下さい。自動車整備士になるなら、トヨタ自動車の本拠地名古屋が一番! 当校の教育内容や施設の充実度、学校の規模、伝統は、全国の自動車整備専門学校の中でもトップレベルです。トヨタ自動車で活躍するという夢が実現できますよ。



まだ間に合います

Club Information

● クラブ活動紹介

自動車部

初参戦で大健闘! 整備科2年 松林 竜馬・田中 健太
自動車部は今年、ゼロハンカーレースと、EVカーで1時間の耐久レースを行う「ワールドエコノムーブ」豊田、白浜の3つのレースに参戦しました。過去の経験がまったく無い状態からのスタートでしたが、学校での授業をはじめ、本やインターネットで学んだ知識を活かして何とかマシーンを完成させることができました。マシーンをきれいに作り上げるためには、地味な作業を確実にこなすことが必要です。自動車部全員が同じ意識と共通の目的を持つためにも、コミュニケーションは徹底して行いました。この参戦によって、一人一人が、自ら学んで実践する力とチームワークを身につけることができました。

振り返ってみると、苦しかったこと・つらかったことなどたくさんありましたが、それ以上の充実感・達成感を得るとともに、仲間との連帯感や友情を育むことが出来て本当に良かったと思っています。来年は今年以上に後輩たちが勉強し、より良いマシーンと思い出を作ってくれることを願っています。



「2005ワールドエコノムーブinとよた」大会
場所:豊田スタジアム 参加学生:自動車部員7名
日時:9月10日、11日
●予選:1グループ32台中11位
全グループ91台中42位
●決勝(GP2に出場):91台中31位
(トップはAISIN AW)



「2005ワールドエコノムーブin白浜」大会
場所:旧南紀白浜空港 参加学生:自動車部員4名
日時:10月29日、30日
●第1ヒート(予選):52台中23位
●第2ヒート(決勝):52台中32位
(トップはAISIN AWのオープンクラス)

バスケットボール部

全国大会出場

8月24日～28日、沖縄県那覇市の県立武道館(宜野湾市体育館)において全国大会が行なわれました。このシーズンの沖縄は、刺さるような日差しが降り注ぐなかで、一生懸命予選リーグを戦ってきました。地元では予想以上の歓迎ムードで、空港の看板や地元のテレビではこの大会を大きく取り上げていて驚きました。

多くの先生方にご支援、ご理解をいただきながら無残な結果となりましたが、バスケットボール部員は、今年目標である全国大会に出ることができ、いい経験になったと考えています。この4日間の全国ステージは、有意義で部員一人一人にとって貴重な財産となりました。

全国大会 試合結果

トヨタ名古屋整備専門学校 VS 大原法律公務員専門学校(北海道2位)	86 - 91
トヨタ名古屋整備専門学校 VS 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校(南関東2位)	56 - 71
トヨタ名古屋整備専門学校 VS 修成建設専門学校(関西2位)	55 - 97



卓球部

9年連続全国大会出場

10月12日に愛知県内の専門学校卓球大会が行われました。この大会は12月に行われる全国大会の予選でもあり、チーム全員が「全国大会へ!」という気持ちで挑みました。

結果、全国大会へ4人出場することができ、団体戦でも3年振りに優勝することができました。この優勝はチーム全員で勝ち取ったものだと思います。この勢いを維持し、全国大会でも上位へ進出できる様に頑張りたいと思います。
(2年生 卓球部部长)



Study Overseas

● 海外研修

ヨーロッパ研修

初のヨーロッパ研修を終えて

10月11日～19日にかけて、本校初となるヨーロッパ研修を、研究科生を対象に実施しました。今年度の参加者数は、研究科1年、2年合わせて39名でした。

研修先は、ドイツ、フランス、ベルギー、チェコなど数カ国にまたがり、観光地ではパリやブラハなどを、観光地以外では、トヨタ自動車・チェコ工場、TME(欧州トヨタ本社)、TMG(トヨタモータースポーツ)、ベンツ工場を見学しました。TMEでは、本拠地日本を上回るほどサービスが徹底されており、一方ベンツ工場では、トヨタ自動車以上に厳しく環境問題に取り組んでいると感じました。学生達の間で特に関心が高かったTMGでは、F-1マシンを開発している現場や作業風景、完成した部品などを間近で見学することができました。

参加者全員が、ヨーロッパの風土や日本とは違う自動車文化を肌で感じ、満足して帰国しました。天候にも恵まれ、大変充実した研修になったと思います。この経験を今後の生活に活かすよう頑張りたいと思います。



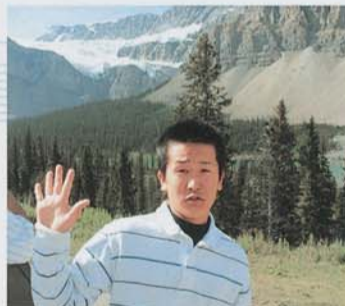
カナダ留学

カナダでの出来事

整備科2年 岩田 秀之

私にとって一番印象に残っている出来事は、学校のイベントでバスに乗って市内観光に出かけた日のことです。

私のホームステイ先では、「午後5時までに帰れそうになかった場合は、連絡すること」というルールがありました。しかし、当日の市内観光は予定が大幅に遅れ、家に連絡できずにそのままバスに乗って帰ることになりました。結局家に着いたのは6時過ぎ。私は「初っ端からやっちまった…怒られるかなあ。まだ、ホームステイが始まったばかりなのに…」とすごく不安に思いながら、ホストファミリーに遅れた理由とバスに乗って帰って来たことを話しました。するとホストファミリーは、「それはいい経験ができたじゃないか」と言ってくれました。まさかほめられるなんて思っていなかった私は、「アレ!!」と拍子抜けしながらも、すごく心が暖かくなりました。家族の暖かさに触れ、いっぱい笑って、いっぱい泣きました。また、言葉の壁や文化の壁も越えられたと身を持って体験できた1ヵ月でした。



TOYOTA Technical College Nagoya News

Information

オープンキャンパス

- ◆学校見学会 … 1月14日(土)
- 2月11日(土)
- 3月28日(火)

2006年4月入学生募集

全員が学科、実習ともに基礎から学べるので、無理のないステップアップが可能に。誰でも「自動車整備」のスペシャリストをめざすことができます。自動車に関する専門技術教育と企業ニーズにあった職業教育をおこなっています。

入試日程

- ◆一般入試
- 第3回 … 2月24日(金)・25日(土)



今後のおもなスケジュール

- ◆卒業式及び終業式 … 3月22日(水)
- ◆自動車整備士登録試験 … 3月26日(日)
- ◆始業式 … 4月11日(火)
- ◆入学式 … 4月12日(水)